

令和元年度第3回みやま市総合教育会議 会議録

- ◆日時 令和2年2月19日 午前10時00分
- ◆場所 みやま市役所3階 応接室

1. 出席構成員（6名）

- ・市長 松嶋 盛人
- ・教育長 待鳥 博人
- ・教育委員 井上 正明
- ・教育委員 樺島 靖子
- ・教育委員 宮本 篤
- ・教育委員 北原 八州子

2. 事務局出席者（12名）

市長部局

- ・副市長 宮 寄 敬 介
- ・総務部長 西 山 俊 英
- ・秘書広報課長 久保井 千代

教育委員会

- ・教育部長 野田 圭一郎
- ・学校教育課長 藤 吉 裕 治
- ・社会教育課長 山 田 利 長
- ・指導室長 屋 形 朋 子
- ・学校教育課課長補佐兼  
学校教育係学務担当係長 北嶋 淳一郎
- ・学校教育課総務係長 小 柳 る み
- ・学校教育課学校給食担当係長 松 尾 一 幸
- ・学校教育課学校再編推進係長 河 野 成 嗣
- ・社会教育課課長補佐兼  
文化スポーツ推進係長 森 英 臣

3. 次第

1. 開会（市長あいさつ 教育長あいさつ）
2. 議事録署名人の指名
3. 協議事項
  - (1) 今後の学校再編計画について
  - (2) 各課報告協議

- ①学校教育課、指導室
- ②社会教育課
- 4. その他
- 5. 次回開催予定

#### 当日配布

- ・みやま市教育大綱
  - ・令和元年度第3回みやま市総合教育会議資料
    - 学校再編について
    - 給食調理員の雇用状況
    - 令和4（2022）年度以降の成人式について(案)
    - GIGAスクール構想の実現
- 

#### 【午前10時00分 開会】

##### 1. 開会

###### 市長あいさつ

令和元年度第3回みやま市総合教育会議を開催したところ、教育委員・教育委員会職員、市長部局の皆様、大変お忙しい中にご出席いただき、ありがとうございます。

日頃より教育委員の皆様方にはお世話をかけております。

尚、今新型コロナウイルスの問題で日本中大騒ぎになっておりまして、いずれ九州にも入ってくると考えられるため、新型コロナウイルスの対策本部を設置いたしました。

基本的には数年前の新型インフルエンザの対応に準じて行いますが、政府が出している分及び午後からの保健所との会議で色々な情報をいただくため、そういうのも含めて学校関係にもお知らせしながら防疫体制をしっかりと出来ればと考えております。

どうぞよろしくお願い致します。

###### 教育長あいさつ

先ほどの市長のあいさつにもありましたが、教育委員会部局と市長部局が緊密に連携をしながら、子ども達のため市民のためにどう取り組んでいくかということをご真剣に協議をいただければと思っています。

さて、いよいよ本郷小、上庄小、下庄小学校が閉校を迎えました。4/3には開校式ということで瀬高小学校が誕生をいたします。また閉校式及び開校式についてはご足労をかけると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

子ども達の様子について、小学校の高学年は中学校への進学準備ということで心構え等も小中連携のもとに行われています。中学校は高校入試、最終的な公立高校一般入試を残すところのみとなっています。推薦入試は大変良好な結果であったと中学校の校

長より報告があつています。本日は学校再編その他議事が沢山ありますが、協議をよろしくお願い致します。

## 2. 議事録署名人の指名等

(市長) 松嶋 盛人  
(教育委員会) 教育委員 樺島 靖子

・・・全員同意・・・

## 3. 協議事項

(1) 今後の学校再編計画について

【市長】 学校再編については、複式学級が想定される開小学校、江浦小学校含む第4グループの4小学校区へのアンケートを行うこととしていた。そのアンケート結果について説明をお願いします。

【学校再編推進係長】

-学校統合に関するアンケート調査結果について説明(資料P1~16)-

【市長】 質疑等はありませんか。

【井上教育委員】 資料16ページに「統合しているところの子ども、親の今の気持ち、意見を知りたいです。」とあり、全くそう思う。今協議しているのは、前に進めるためにどうしたらよいかを考えているだけで、統合したところの今の意見等は知らないのが現状である。実際は、桜舞館小学校が開校した頃の親や今の親達の不安が解消されたのか、又はそのまま不安が残っているのかの検証はしていないと思う。学校教育を担うものとして大事なのは、子どものためにどっちがどうなのかをきちっと見通していかなければいけないことだと思う。見通していく時に何が役に立つのかというと、前例の部分である。親の不安や子ども達の不安がどういうふうに解消されていったのか、その手立てを今からの保護者に提示することによって、反対、賛成の部分が若干修正されていくのではないのかなと思う。そこで、今からでも桜舞館小学校の保護者に対し統合後のアンケートを取ってみてはどうかと思うが。

【教育部長】 確かに井上委員のご意見のとおりだと思うため、統合後の保護者のご意見等を取りまとめて、説明会の折にこれまで統合したところの状況を説明しながらご理解をいただくように努めていきたい。

【市長】 今後進めていくことは、このアンケート集計結果をご記入いただいた方々へお返しすることと、まずは桜舞館小学校からだが、来年度開校する瀬高小学校も含めて統合後のご意見等を集約することである。このことによって修正すべき点も含め、次の再編に向けての一つの材料になるのではないのかなと思う。

【市長】 次に次期統合グループと進め方について説明をお願いします。

【学校再編推進係長】

今後の取組みについては5月頃に総合教育会議を開催していただき、市及び教育委員会の方針を決定いただきたい。統合後の場所の選定、統合目標年度の設定、条件整備等を決めていきたいと思っている。そこで、アンケートの回答の中でいただいた二川小校舎の活用や高田中に併設したらどうかのご意見については、試算表等を作成するため、次回の総合教育会議の中で決めていただきたい。

その後、関係校区に対して説明会を順次実施し、10月頃には合意形成を求める情報交換会を改めて開催し、12月には関係校区から合意形成の報告をいただきたいと思っている。

令和3年2月には統合協議会発足の前段である連絡会議を開催し、令和3年5月頃から統合協議会を発足し、令和5年度に新校の開校という形で進めていくことが出来たらと思っている。

【教育部長】 今回の会議には、二川小の校舎を活用した場合の改修費用やスクールバスの配置及び台数、高田中を活用した場合の具体的な費用の資料を作成し、最終的なご意見を取りまとめて決定していきたいと思っている。その後の日程についても年次表を作って具体的にお示しをさせていただく。

【北原教育委員】 今回の4校統合に際して二川校区の意見として、児童数が減らないし、まだいいのではないかという声が上がっている。二川校区が反対の声が多かった場合は3校だけ統合という形になるのか。

【教育部長】 今のところ3校のみの統合を進めていく予定はない。

【教育長】 高田中校区は統合に向けて前進しているところだが、次は瀬高と東山中の統合ではないのかと思われる方が市民の中でもかなりいらっしゃると思う。何らかの形でその情報をきちんと整理する必要がある。

あるのではないかと思う。

**【市長】** 本来ならば次は第5グループである東山中と瀬高中の統合で、それが完了し水上小と清水小が東山中の所に統合してというのが第3グループであった。本日も協議いただいたところは第4グループであり、順番が入れ替わっているため、水上小及び清水小を含めて東山中及び瀬高中の市民へ説明をしていかなければいけない。

複式学級が先に開小、江浦小学校区が出てくるということ、水上小、清水小に関しては少し先になるということで、順番が変わってきているところの説明等も今後この会議等でどういうふうにするのか、きちんと整理すべき時期であると思う。

**【井上教育委員】** 具体的に水上小や清水小校区の保護者からの要望等があるのか。

**【教育長】** 地域住民の方を中心に、統合はどうなっているのか等の声は聞く。

**【副市長】** 多分方針が前提にあって、このように進めるというのがあると思う。元々の計画がこの何年間でというのが切れているのであれば、一部を変更してこの計画については例えば枠組みは同じであるが、統合の順番については複式学級の見込みがあるところから優先して進めますよと前提としてやってしまえば、第1グループだろうと第2グループだろうと関係ないと思う。全面改定するのが難しければ、統合の順番を決めた方針の考え方が変わったためこの順番でいっているということだけ、計画を決めてしまえばよいのではと思う。

**【教育部長】** 当初計画では、それぞれの統合グループに目標年度を全部設定して計画書を作っていたのだが、第1グループ第2グループを進める上で非常に地域合意が難しい状況で、時期がずれてきたところである。統合の時期が遅れてきている状況や学校再編の第1の目的が複式学級の解消ということで、途中で計画変更し目標年度を外したところである。

**【学校再編推進係長】**

平成25年11月に計画の見直しを行い、第2グループ以降の統合は状況を見て時期を定めると計画を変更しており、時期については未定となっているのだが、それが市民の皆さんには十分伝わっていないところである。

**【市長】** 3年位前に東山中学校区で小中一貫校の話が出たため、2回区長に集ま

っていただいた。その際、水上校区は統合してもよいとの感じではあっても小中一貫校との意見が強く、清水校区の地域の方は高速道路のインターも出来て地域周辺に家も建ってきているため、統合には反対とのことであった。水上校区の地域の方々は瀬高中に行かせない、清水校区は近いから行ってもいいと大きく割れており、今後第4グループを進めることになった際は、非常に難航すると考えられる。

## (2) 各課報告協議

### ①学校教育課、指導室

**【学校教育課長】** 学校給食の現状と今後の方向性について、本市は全14施設直営で山川給食センターを除き自校方式となっており、今回の第2グループの統合により自校調理場の上庄小学校が減り、全部で13施設となる予定である。給食調理員だが、正規職員20名が今年3月に1名退職で19名、その代替え職員が1名増となり、そのほか再任用1名となる。パートの職員が現状45名で運営をしているところである。前回の会議で様々なご意見をいただいたところだが、まずは近隣市町の状況について学校給食担当長より説明をさせていただく。

### **【学校給食担当係長】**

—近隣の給食調理員の雇用状況について説明（資料P17～18）—

**【学校教育課長】** みやま市の状況を近隣と比較して見ていただいたのだが、学校教育課としては資金的なものが潤沢にあれば現状維持を望むところであるが、コストの適正化や施設の老朽化、更には働き手という課題を踏まえると学校給食を存続するというに向けて最終的な方向性を見出していく必要があるのではないかと思っている。

現在、教育委員会と市職員労働組合で立ち上げている学校給食のあり方検討会にて色々な案を出し合いながら、みやま市が進む方向性について会議を重ねながら模索している状況であるため、この会議の中でその内容を議論していただければと考えている。

**【市長】** 方向性として大まかにどのように考えているのか。

**【学校教育課長】** コスト面だけでいうのであれば民営化及びセンター化がいいと考えている。ただ、人の手当の部分もあり、これだというのは協議の中でも出てこないため、いくつかの案を出し合おうという話をしている。

**【副市長】** 今年は市全体として公共施設の個別計画を点検されていると思うが、

現時点としてはドライ方式を満たしている施設がどのくらいなのかだ  
と思うのだが。

【学校教育課長】 ドライ方式を満たしている施設が3施設のみとなっている。

【副市長】 一方では統合の問題もあり、市全体の子どもの数は把握出来ても今後  
どこの学校が統合するのか必要な給食の食数が定まらない中で、中々  
施設の整備がしづらいという面が課題であると思う。  
そう考えると統合の時期等がいつになるのかが決まっていない中で、  
給食施設が安全な形で運用出来ない形になるのが一番まずいのかなと  
いう点が、実際にお話しいただくときに老朽化の問題というか子ども  
達に安全に給食を口にしていこうという面も考えると施設を更新してい  
く必要があるし、それが個別で中々現状難しいのであれば、やむを得  
ないという気がする。それに人の問題もあるため、人と施設と両方整  
備をしていく必要がある。

【市長】 近隣で業者委託をしている柳川市や筑後市、広川町等への視察調査を  
していただき、どういう方式がいいのかを再検討していく必要がある  
と思う。

【宮本教育委員】 今は業者委託でも給食が美味しいとのことだが、学校生活において給  
食というのは、給食が楽しみで来ている子どもや、美味しいものを食  
べれば気持ちも前向きになり苦手な野菜も克服出来る等、給食の質は  
子どもの発達において非常に重要な部分を占めていると思う。  
ただ、問題なのが給食の質を数値化出来ないところで、いざ比較しよ  
うとすると中々難しく表現しづらいため、結局議論し易いコスト面  
で話を進めていくことがあり得ると思う。今後外部に委託するにしても  
給食の質の部分を含めた上で、議論していくべきである。そういった  
意味でいえば、直営と委託と両方使っている市の意見を聞くのもいい  
のかなと思ったところである。

【市長】 雇用面もだが、子ども達の食育という大事な部分もあるし、そこも含  
めて早急には出来ない問題でもあるため、10年位かかる計画となる。

【学校教育課課長補佐】

— ICT教育環境整備について説明(資料 G I G Aスクール構想の  
実現)—

【教育長】 国のGIGAスクール構想が突然出されたため、担当者は対応に苦慮して進めていただいている。今後タブレット等を児童生徒に一人1台配布していくのだが、先生方の指導力量を上げていくことが今から問われてくるのではと思う。教育研究所でもタブレットの指導について今年報告があるし、来年度以降もどういふふうに研修計画を作っていくのか、指導室との連携にも繋がっていくのでは考えている。世界の国々の状況を見ると、日本は授業でICTを活用している状況が少ないため、将来的に考えるとICTの重要性が言えるのではないかと思うところである。

【市長】 今回導入しても5年後には旧式化するため、その際は自分達での購入となり一時的なものになる可能性もあるのではと危惧しているが、それなりに対応していく必要がある。

【副市長】 実際5年後にはパソコンで学力テストを実施するとのことであり、そういう意味では全国一律でみやま市の子ども達がそこをしっかりと出来るのかという話になってくる。国の施策で実施するとはいえ、全国一律で取り組む事業であるため、子ども達のためとなった時に、みやま市の基準がないのは良くないと思うため、しっかり取り組んでいく必要があると思う。

(ICT教育環境整備について質疑あり)

【指導室長】 次にキャリア教育の推進について、本年度の教育施策の中で社会にはばたく力を上げている。その力の育成に繋がるキャリア教育の推進状況について、今回学習指導要領が変わり文部科学省もキャリア教育を進めることを言っている。その中でキャリアパスポートを皆に持たせると言っているが、みやま市は数年前から夢ノートを配り、その中に自分の夢や目標を書き自分の頑張りをファイルしてきており、今回本年度から2年間でキャリア教育推進プロジェクト会議を立ち上げており、本年度3回会議を実施し、昨日終わったところである。メンバーは、井上教育委員、小中学校校長代表、山門高校校長、事務局となっている。

成果として、小学校、中学校、山門高校との連携が進んでいる。特に閉校する上庄小学校と下庄小学校では、閉校事業で山門高校書道部によるパフォーマンスをしていただいた。みやまのアンビシャス広場では、山門高校の吹奏楽部と書道部がそこに出ている。また、中学校と高校の生徒会代表が交流会を持ち、それも充実したも

のとなっている。高校生が子ども達の憧れる目標となる姿を見せてくれたと思う。

また、職員の交流も小中学校の授業の研究会に山門高校の先生方が多数参加していただいている。そこで、授業改善の方向性について協議が行われたと聞いている。

2点目にみやまの良さを学び、みやまで生活する、又はみやまを出ていっても故郷を愛する心を持って欲しいということで、みやまの自分達の地域の良さをマップに表すというようなことを行いたいと思っている。まずは山川中学校の学びマップを本年度に完成予定である。

次年度には他の3中学校区でも作成し、統合してみやま市全体の学びマップを作成する予定である。

もう一つは、小学校中学年の社会科で地域について学ぶのだが、現在その副読本がない状況であり、来年度教育研究所のグループ研究にて数年をかけて研究し作成をしていく。

3点目に中学生にとって望ましい勤労観や職業観を育むために、2年生や3年生で職場体験を行っている。その体験を受け入れてくれるところを増やすことが課題となっているため、昨日農林水産課及び商工観光課へ行きご協力をお願いをしたところである。

**【宮本教育委員】** 職場体験についてだが、学校での職場体験は社会科見学的なもので、社会に羽ばたく人材を育てるということであれば、お金の取り扱いを教えるべきではないかと思う。お金のやり取りを肌で感じるような職場体験をすることによって社会に出た時に、お金に対する考え方や仕事のやり方が違ってくるのかなと思うため、そここのところを検討していただきたい。

## ②社会教育課

**【社会教育課長】** オリンピック関連事業について、昨日よりオセアニア諸国の留学生ではあるが、マーシャル諸島及びパプアニューギニアより2名を青年交流団ということで受け入れている。

最終的に山門高校生と一緒に観光パンフレット等を作成するようになっている。状況が分かり次第、随時報告をしていく。

—令和4年度以降の成人式について説明（資料P19）—

事務局としては2022年度以降の成人式は、従来のおり20歳を対象とし実施時期は成人式の前日の日曜日にと考えている。

**【樺島教育委員】** アンケートを実施する考えはないのか。

【社会教育課長】アンケートを実施する予定はない。

4. その他 特になし

5. 次回開催予定

令和2年5月下旬頃

【午前11時55分 閉会】